

気象庁における緊急地震速報関連の今後のビジョン

NPO法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会

緊急地震速報の精度向上に向けて、気象庁では、「技術的改善」の検討を進めています。

すでに、今年の8月に報道発表があり、また、配信事業者などへの説明会も開催されていますので、概要についてはご存知の方も多いかと思えます。

IPF法、PLUM法の導入に伴って、気象庁から配信される電文の変更が予定されております。

今回は、気象庁 中村雅基氏をお迎えし、緊急地震速報技術的改善（IPF法、PLUM法）に伴い新しく採用される電文案（予報資料案）の内容も含め緊急地震速報関連の今後のビジョンについてご講演いただきます。

緊急地震速報予報許可事業者の皆様にとって有益なセミナーと存じます。
会員・非会員問わず皆様のご参加をお待ちしております。

講 師

気象庁 地震火山部地震津波監視課
地震動予測モデル開発推進官
中村雅基氏

日 時 平成27年**1月16日（金）** 13時45分～15時15分
場 所 東京八重洲ホール901会議室
東京都中央区日本橋3-4-13 新第一ビル
「東京駅」八重洲中央口徒歩3分(JR・丸ノ内線)
<http://yaesuhall.co.jp/accessmap/>

定 員 60名（先着順）
参加費 無料

お問合せ・お申込 reic_semi0116@eq7realtime.org
TEL03-5366-2720 FAX 03-5366-2740

REIC防災セミナー申込書（メールまたはFAXでお願いします）

申込者	氏 名		会社名	
連絡先	Mail		電 話	